



やず町議会だより

発行/鳥取県八頭町議会 編集/八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-73-0290



▲安徳の里 姫路公園まつり

もくじ

■3月議会定例会	2
■委員会構成	6
■THE 検証(公共交通問題)	7
■町政に対する一般質問	8
■臨時会	14





▲着々と建設が進む中央中学校

平成19年度

一般会計予算決定

3月
定例会

3月6日～19日

第3回

総額93億7,300万円

昨年度より3億8,600万円増(4.3%↑)

平成一九年度当初予算等を審議する三月議会定例会を、三月六日から一九日までの一四日間の会期で開催した。
一般会計予算等町長提出議案五一件を慎重審議し、原案どおり可決した。
陳情は、三件を審議し二件を採択、一件を趣旨採択とした。

一般会計予算は総額九三億七、三〇〇万円
で、昨年度の当初予算より三億八、六〇〇万円の増。昨年度と比較すると歳入面では、町税が一億七、八〇〇万円の増、地方交付税は九、九〇〇万円の減、国・県支出金が一億八、四六五万円の増。

これに対して歳出は、教育費が四七％の増、民生費は五％の減、農林水産業費も四％の減となっている。

予算に対する質疑
予算について人件費を含むトータルコストは、どこでわかるのか。
トータルコストの問題は、具体的には計算できないと考えている。
金銭的に赤字だからと

質疑
予算について人件費を含むトータルコストは、どこでわかるのか。
トータルコストの問題は、具体的には計算できないと考えている。
金銭的に赤字だからと

質疑
一般会計予算は総額九三億七、三〇〇万円
で、昨年度の当初予算より三億八、六〇〇万円の増。昨年度と比較すると歳入面では、町税が一億七、八〇〇万円の増、地方交付税は九、九〇〇万円の減、国・県支出金が一億八、四六五万円の増。

これに対して歳出は、教育費が四七％の増、民生費は五％の減、農林水産業費も四％の減となっている。

質疑
一般会計予算は総額九三億七、三〇〇万円
で、昨年度の当初予算より三億八、六〇〇万円の増。昨年度と比較すると歳入面では、町税が一億七、八〇〇万円の増、地方交付税は九、九〇〇万円の減、国・県支出金が一億八、四六五万円の増。

質疑
一般会計予算は総額九三億七、三〇〇万円
で、昨年度の当初予算より三億八、六〇〇万円の増。昨年度と比較すると歳入面では、町税が一億七、八〇〇万円の増、地方交付税は九、九〇〇万円の減、国・県支出金が一億八、四六五万円の増。

これに対して歳出は、教育費が四七％の増、民生費は五％の減、農林水産業費も四％の減となっている。

質疑
一般会計予算は総額九三億七、三〇〇万円
で、昨年度の当初予算より三億八、六〇〇万円の増。昨年度と比較すると歳入面では、町税が一億七、八〇〇万円の増、地方交付税は九、九〇〇万円の減、国・県支出金が一億八、四六五万円の増。

これに対して歳出は、教育費が四七％の増、民生費は五％の減、農林水産業費も四％の減となっている。

質疑
一般会計予算は総額九三億七、三〇〇万円
で、昨年度の当初予算より三億八、六〇〇万円の増。昨年度と比較すると歳入面では、町税が一億七、八〇〇万円の増、地方交付税は九、九〇〇万円の減、国・県支出金が一億八、四六五万円の増。

あるべき姿が出てくる。
質疑
地域改善対策推進費として部落解放同盟の補助金が、七二二万円計上されており、六〇数万円減額されている。その見直しの内容は。
答弁
昨年度と同額だ。昨年度は、植栽の補助金が六〇万円ばかり見てある。

質疑
地域改善対策推進費として部落解放同盟の補助金が、七二二万円計上されており、六〇数万円減額されている。その見直しの内容は。
答弁
昨年度と同額だ。昨年度は、植栽の補助金が六〇万円ばかり見てある。

質疑
地域改善対策推進費として部落解放同盟の補助金が、七二二万円計上されており、六〇数万円減額されている。その見直しの内容は。
答弁
昨年度と同額だ。昨年度は、植栽の補助金が六〇万円ばかり見てある。

質疑
地域改善対策推進費として部落解放同盟の補助金が、七二二万円計上されており、六〇数万円減額されている。その見直しの内容は。
答弁
昨年度と同額だ。昨年度は、植栽の補助金が六〇万円ばかり見てある。

質疑
地域改善対策推進費として部落解放同盟の補助金が、七二二万円計上されており、六〇数万円減額されている。その見直しの内容は。
答弁
昨年度と同額だ。昨年度は、植栽の補助金が六〇万円ばかり見てある。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

質疑
土地三〇〇万円、家屋一、五〇〇万円、全体で一、八〇〇万円の部分に対して減額し、それ以上については、減免はない。減免額は、約一、五八〇万円。
保育料は、三割の軽減で昨年実績は、八一名、一〇二万円だ。
質疑
経費節減は、何に対してどれだけ節減したのか。
答弁
物件費で一億二〇〇万円、七・二％の減。
質疑
予算査定段階でやむなく落ちた事業は。
答弁
やむなく落としたものは、たくさんある。早い時期に取りかかったりしたものとして防災無線、CATVがある。その他は大体できた。

町民一人あたりに占める 主な歳出額

平成一九年四月一日現在の
住民基本台帳人口で算出



平成一八年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、それぞれ三億九千七百万円を減額し、九億九千四十六万六千円とした。

この主なものは、国庫補助金の当初見込みに対し、増額に伴う財政調整基金からの繰入金の減額と、中学校校舎改築請負契約費が予定より安くなったことに伴う整備事業費の減額などについて補正した。

合併推進事業費の三億円は、どういう観点で事業実施しているのか。

地域間格差の是正、町民全体の一体性を持つ施策が基本である。

最終補正の段階で年度当初と対比して財政指標はどうなのか。

指数は、まだ試算をしていない。五月を待たないと判らない部分もある。

できるだけ早い機会に議会に示したい。

まだまだ厳しい財政状況は続くので、一層の行政改革を進めていく。

合併補助金に対する所感。

ありがたい補助金だと思う。

議会広報特別委員会を議会広報常任委員会に改めるなどの改正を行った。

議員発議

◆議会委員会条例の改正

議会広報特別委員会を議会広報常任委員会に改めるなどの改正を行った。

◆次の条例を改正し、合併後の施設使用料等を整理し見直した。

- ・公園条例
- ・学校施設使用条例
- ・総合運動公園条例
- ・社会体育施設条例

◆指定管理者の指定 次の各施設に指定管理者を指定した。

- ・八東地域福祉センター(社会福祉法人) 八頭町
- ・社会福祉協議会
- ・安徳の館(姫路)
- ・(株) やすふれあい市場
- ・姫路公園(姫路)
- ・(株) やすふれあい市場
- ・交流広場(才代)
- ・(社団法人) ハーモニイカレッジ

◆陳情の審査 陳情三件を審議し、採択二件、趣旨採択二件とした。

平成19年度一般会計予算と主な事業費

議会費	1億858万円 (1.2%)	土木費	6億7,413万円 (7.2%)
総務費	12億5,450万円 (13.4%)	除雪対策費	1,978万円
非常勤特別職報酬費(区長手当)	613万円	私都中央線等改良事業費	4,400万円
男女共同参画推進費	50万円	急傾斜地県負担金	2,585万円
国際交流事業費	283万円	消防費	3億653万円 (3.3%)
民生費	20億9,655万円 (22.4%)	防災無線管理費	741万円
隣保館運営費	1,352万円	東部広域負担金	2億7,237万円
老人クラブ支援事業費	825万円	水防対策費	43万円
障害者等住宅改良助成事業費	67万円	教育費	15億432万円 (16%)
衛生費	9億56万円 (9.6%)	外国青年招致事業費	928万円
ごみ収集委託料	1億4,732万円	中央中学校建設費	7億2,821万円
東部広域ごみ処理負担金	1億6,392万円	人権教育推進事業費	2,913万円
し尿処理負担金	1,919万円	公債費	13億1,725万円 (14%)
農林水産業費	10億6,342万円 (11.3%)	地方債元金償還金	10億9,695万円
中山間直接支払交付金事業費	2,920万円	地方債利子	2億1,880万円
20世紀梨再生促進事業費	140万円	一時借入金利子	150万円
竹林公園管理運営費	688万円	予備費	2,766万円 (0.3%)
商工費	1億1,950万円 (1.3%)		
商工振興運営費等補助金	1,110万円		
観光協会補助金	42万円		
観光総務費	373万円		

平成19年度特別会計予算

国民健康保険	19億3,600万円
簡易水道	3億850万円
住宅資金	2,750万円
老人保健	21億500万円
公共下水道	4億5,460万円
農業集落排水	7億8,830万円
介護保険	14億4,200万円
宅地造成	1億5,690万円
墓地事業	180万円
老人居室、障害者住宅整備資金	38万円
4財産区	99万円
特別会計合計	72億2,197万円

(昨年度より2億1,041万円(3%増))

条例等

本会議に条例制定七件、条例の一部改正二二件、指定管理者の指定四件、東部広域等組合規約の変更四件。その他一件が上程された。

審議の結果、条例制定案件一件は議案を差し替えて可決。条例の一部改正案件一件は議案を一部修正して可決。

その他の案件については原案可決とした。主な条例の内容及び質疑等は、次のとおり。

◆副町長を設置する条例の制定

地方自治法の改正に伴い助役に代えて副町長一人を配置するもの

◆職員給与の特例に関する条例の制定

平成一九年度の職員の給料を条例に定める給料表から四%減じるもの。

質疑

平成一七年度の人件費に対して全体で八千万円の減額だと判断してよいか。

答弁

平成一九年度の満額払いに比べ減額になるとい

うことだ。

反対討論 池本議員

国の行政職の給料と比較した場合のラスパイルス指数が、本町は九五・一である。県内町村の平均九三より高いので、職員に五%をお願いすべきである。

賛成討論 前土居議員

勤労意欲ということもある。力いっぱい働いていただくことを含めて原案賛成。

地域福祉センター条例改正

指定管理施設とするた

めに利用料を改正した。

質疑

利用料アップは従来利用されていた人の楽しみを奪うもの。利用者数、増収効果はみているか。

答弁

町内全域で送迎を考えているのでご理解を。平成一七年度が七、三三二名。土曜日と祭日も営業し四三〇名の増を見込んでいる。

反対討論 池本議員

指定管理者へ移行の目的は経営改善を図ること。移行前の値上げは反対だ。

賛成討論 川西議員

町内全域を送迎するということ、燃料費のこともあり賛成する。

賛成討論 下田議員

値上げして楽になる状況ではないが、サービス向上を期待して賛成する。

本家は料金等を修正して可決した。

平成一八年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額から、それぞれ三億九千七百万円を減額し、九億九千四十六万六千円とした。

この主なものは、国庫補助金の当初見込みに対し、増額に伴う財政調整基金からの繰入金の減額と、中学校校舎改築請負契約費が予定より安くなったことに伴う整備事業費の減額などについて補正した。

合併推進事業費の三億円は、どういう観点で事業実施しているのか。

地域間格差の是正、町民全体の一体性を持つ施策が基本である。

最終補正の段階で年度当初と対比して財政指標はどうなのか。

指数は、まだ試算をしていない。五月を待たないと判らない部分もある。

できるだけ早い機会に議会に示したい。

まだまだ厳しい財政状況は続くので、一層の行政改革を進めていく。

合併補助金に対する所感。

ありがたい補助金だと思う。

議会広報特別委員会を議会広報常任委員会に改めるなどの改正を行った。

◆次の条例を改正し、合併後の施設使用料等を整理し見直した。

- ・公園条例
- ・学校施設使用条例
- ・総合運動公園条例
- ・社会体育施設条例

◆指定管理者の指定 次の各施設に指定管理者を指定した。

- ・八東地域福祉センター(社会福祉法人) 八頭町
- ・社会福祉協議会
- ・安徳の館(姫路)
- ・(株) やすふれあい市場
- ・姫路公園(姫路)
- ・(株) やすふれあい市場
- ・交流広場(才代)
- ・(社団法人) ハーモニイカレッジ

◆陳情の審査 陳情三件を審議し、採択二件、趣旨採択二件とした。

陳情三件を審議し、採択二件、趣旨採択二件とした。

陳情の審査

陳情三件を審議し、採択二件、趣旨採択二件とした。

THE 検証

公共交通問題の その後は？

毎定例議会では、一般質問の中で、行政全般にわたって町当局にただし、所信の説明を求めています。

それに対して、その後、町当局がどう取り組んでいるか、結果はどうなっているかについて追跡し、検証します。

抱えている課題は

1. 若桜鉄道的大幅赤字・クローバーバス運営費負担拡大（特に若桜鉄道は、設備更改による費用増加予定）
2. 県の補助金の削減
3. 乗車人数の減少

議員が行った一般質問は

平成 17 年 6 月議会定例会から平成 19 年 3 月議会までの 2 年間に 7 議員（延べ 8 回）が若桜鉄道を中心とする若桜谷の公共交通及び町内のクローバーバスの運行や経営問題について、町長に所信を求めた。

実施した主な対策結果は

○町内クローバーバス

*国中～郡家駅線

平成 18 年 10 月 1 日から全面廃止

*私都～大江線、私都～郡家駅線、大江～郡家駅線

平成 19 年 4 月 1 日から日曜・祝日運休

平日 1～3 便減便

○若桜谷幹線（若桜鉄道・広域バス）

八頭町・若桜町・国・県・交通事業者・有識者等で構成する「若桜谷の公共交通を考える協議会」は、平成 19 年 3 月、次の 5 案のケースからなる提言をまとめた。

これをベースに議会・町当局が一体となって八頭町内の意見を集約し、最終的には若桜町など他団体との調整を行うことになっている。

提言書によるケース名	持続可能性 (採算)	周辺への影響 (存在)	住民意見	コメント (提言書の説明要旨)
①現況踏襲型	×	△	○	住民・自治体の負担が大きく推奨することが適当でない
②幹線バス廃止、若桜鉄道郡家（一部鳥取）まで	△	○	△	負担とメリットに対する合意がなければ、推奨を躊躇
③若桜鉄道廃止、幹線バス鳥取まで	○	×	○	輸送力などの問題はあがるが、最も実現性が高い
④若桜鉄道廃止、幹線バス郡家まで	△	×	△	③より収支改善効果が薄い
⑤若桜鉄道廃止、幹線バス郡家まで（鉄道敷利用のバス専用道を設ける）	×	×	△	専用道整備費 16 億円等負担が大きく、実現性は低い

委 員 会 構 成

平成 19 年 4 月 27 日に委員会構成が変わりました。

教育福祉常任委員会

〃 〃 〃 〃 委 副 委 員 長
員 員 長
山 前 林 小 小 谷 川
本 土 居 林 倉 本 西
弘 一 展 久 一 正
敏 泰 正 幸 博 敏 聡

福祉、保健衛生、教育に関する事務の調査及び議案、請願、陳情の審査等を担当します。

産業建設常任委員会

〃 〃 〃 〃 委 副 委 員 長
員 員 長
矢 竹 桑 河 中 秋 池
部 内 村 村 田 山 本
博 康 和 久 宏
祥 紀 夫 雄 明 樹 強

農林水産、商工、土木建設、都市計画、環境整備、地籍調査に関する事務の調査及び議案、請願、陳情の審査等を担当します。

総務常任委員会

〃 〃 〃 〃 委 副 委 員 長
員 員 長
松 西 下 鎌 岡 森
田 尾 田 谷 嶋 山
秋 節 敏 正 大
夫 子 夫 收 広 四 郎

議会、庶務、財務、企画、人権、消防及び他の委員会に属しない事務の調査及び議案、請願、陳情の審査等を担当します。

議会運営委員会

〃 〃 〃 〃 委 副 委 員 長
員 員 長
小 川 池 森 鎌 河
倉 西 本 山 谷 村
一 博 聡 強 大 四 郎 久 雄

議会の運営、議長の諮問に関する事項等を担当します。

議会広報常任委員会

〃 〃 〃 〃 委 副 委 員 長
員 員 長
小 矢 前 西 下 桑 小
林 部 土 尾 田 村 倉
久 博 居 節 敏 和 一
幸 祥 泰 子 夫 夫 博

議会だよりの編集・発行、議会ホームページの編集・掲載、広報に必要な調査等を担当します。



▲本会議場のある船岡庁舎

- 監査委員
委員 前土居一泰
(議会推薦)
- 鳥取県後期高齢者医療広域連合議会
議員 松田秋夫
- 八頭環境施設組合議会
議員 林河村久雄
議員 展正
- 鳥取県東部広域行政管理組合議会
議員 山本弘敏
議員 松田秋夫
- 公共交通調査特別委員会
委員長 山本弘敏
副委員長 下田敏夫
- 中学校校舎改築等調査特別委員会
委員長 森山大四郎
副委員長 西尾節子
- 議会活性化調査特別委員会
委員長 小林久幸
副委員長 池本強

スポーツ

早期の策定、実現が必要 スポーツ振興計画

教育長／実効性の伴うものを 考えたい



下田 敏夫 議員

質問 高齢化が進む中、真に豊かな長寿社会を目指し住民の健康をどう守る。町民音頭に体操を振り付け町民体操として、健康づくり推進委員により普及を図る考えは。

答弁 平木町長 予防に重点を置く。体を動かし家に閉じこもらない地域づくりが必要。「健康八頭二一計画」をつくり推進していく。健康づくり推進委員には、町全体の健康レベルを上げる大きな目安がある。体操については考えたい。

質問 「いつまでも、どこでも、誰でも、いつまでも」運動ができる環境づくりと、総合型地域スポーツクラブへの関与は。

答弁 西山教育長 行政と住民が協働して取り組むべきである。スポーツ振興計画が何なのか周知や理解を得るよう努力していく。実効性の伴うものを検討する。



▲走る。競う。健康をつくる

質問 「いつまでも、どこでも、誰でも、いつまでも」運動ができる環境づくりと、総合型地域スポーツクラブへの関与は。

答弁 西山教育長 社会体育の振興と発展を



▲男女共同参画拠点施設

人権尊重・男女共同参画の町づくり状況

町長／関係機関が一丸となった人権尊重のまちづくり

総合計画



岡嶋 正広 議員

質問 町総合計画にうたわれている人権尊重及び男女共同参画のまちづくりについて、次に掲げる主要施策の進捗状況を問う。
①人権教育啓発に関する基本計画の策定
②同和教育の推進及び、差別のない社会の実現を目指す取り組み
③男女共同参画推進のための拠点施設の整備状況
④参画リーダーの養成
⑤仕事と家庭の両立支援策の実施状況

答弁 平木町長 ①平成一七年度策定の「八頭町部落差別撤廃人権擁護総合計画」を充実させる方法か、もしくは別物を策定するか検討したい。
②同和問題はもとより、
③男女共同参画推進のため、次に掲げる主要施策の進捗状況を問う。
④参画リーダーの養成
⑤仕事と家庭の両立支援策の実施状況

学校統合

行政改革の小学校統合

教育長／町費で複式学級を 解消している



西尾 節子 議員

質問 小学校統合について、「一学年二学級以上に統合を行う」と行政改革の実施内容にあるが。

質問 生徒一人一人の大江小学校は、第一八回読書コンクールで何人も入賞し、中央審査に五人送られている。他に那家東小学校が二人入賞していた。

答弁 西山教育長 一二学級以上一八学級を標準とする。平成一九年度には、学校適正配置審議会を立ち上げる計画である。

答弁 西山教育長 子どもの能力は波があるといっても過言ではない。一概にひと時の結果で評価するのはどうかと思う。



▲全国コンクールでも頑張る大江小学校

質問 生徒一人一人の大江小学校は、第一八回読書コンクールで何人も入賞し、中央審査に五人送られている。他に那家東小学校が二人入賞していた。

答弁 西山教育長 子どもの能力は波があるといっても過言ではない。一概にひと時の結果で評価するのはどうかと思う。

誘致戦略は

町長／誘致条例をつくる

企業誘致



森山 大四郎 議員



▲グリーンツーリズム農家民宿

質問 八頭町の発展を願う想いは一つ。産業の発展・安定が軸となり、交付税の依存型に留まらず増収の確保に目を向け、産業政策に力を入れるべきではないか。

質問 企業誘致戦略の位置づけを打ち出し、アクションを起こすことが急務と考えるが。

答弁 平木町長 固定資産税だけでなく企業からの税収・観光などの収入を得ていくようにシフトして、企業誘致には町としての方針を明確にすべきと考えている。

質問 昨午一〇月、本町・若桜町・智頭町と田舎暮らし体験ツアーを実施した。

答弁 平木町長 定住対策のニーズは、地元として地域を挙げて迎え入れる体制を整えていきたい。



▲健康ウォークでリフレッシュ



前土居 一泰 議員

健康

健康ウォーキング等を行え

町長／健康は本人の自覚、やる気だ

【質問】

町民は安心・安全を守ってもらうために税金を払っている。健康面に不安を抱えるということは安心・安全でないということだ。

町民の健康対策の一つとして、手軽で金のいらぬ「健康ウォーキング」等を行う考えはないか。

【答弁】 平木町長
予防が重要な課題になってくる。

自分の体は自分が守るという自覚のもとに運動

食生活等を考えていただくしかない。お金はかからない。健康維持・増進は本人の自覚、やる気だ。

わたり制度は廃止されたが役職の増減はどうか

【質問】

職員給与について年功序列の「わたり制度」は廃止された。しかし、役職者数を増やし、金額の上級の給料表適用者を増やしていないか。
平成一七年度と一八年度の対比をたずねる。

【答弁】 平木町長
対比すると一八年度係長は二人のプラス。課長補佐は一〇人のプラスになっている。



小倉 一博 議員

子どもの人権

子どもたちの人権擁護と居場所づくり

町長／体制を整備して支援を図る



▲子どもたちのアユの放流

【質問】

子どもたちの権利条約は、子どもたちが人格と尊厳を持ち、主体的に権利を保有すると認めている。児童虐待や育児放棄について対策はどうか。

昼間子どもだけの家庭が増えているが、本町の実態と対策は。
子育ての環境整備と子どもの居場所づくりについて何う。

【答弁】 平木町長

子育て支援策として土曜の午後保育、一時保育、延長保育、病後時保育、小学三年生までの児童クラブ等の体制を整備。
虐待や児童相談については福祉課が窓口で、緊

【答弁】

西山教育長

平日昼間、大人不在の家庭は八小学校で一六四家庭、二二八人、全体の二割ある。一年から三年については九七人で内七〇人が学童保育に通っている。

子どもたちの居場所として自然豊かな地域が良いと考える。学校の開放は安全のためにも職員の勤務時間内になるが、責任ある管理指導のもとなら勤務時間を越えることも可能。

その他の質問
・公民館活動の充実



池本 強 議員

格差拡大

町民の生活状況を問う

町長／大変厳しい状況だ——
方向性を考えていきたい

【質問】

日本経済の景気拡大が続くなかで、国民の間に貧困と格差が深刻になるとともに、都市と地方の格差も広がりをみせているといわれている。わが町八頭町民の生活状況について何う。

【答弁】 平木町長

・定率減税廃止に伴う納税額の増加額
五、五八〇万円
・国保税滞納者
三一〇人。滞納額
七、八六二万円
・国民健康保険 短期被

・就学援助 児童九六人、生徒四八八人
・生活保護受給 八〇世帯
・夫婦暮らし
一、一八六世帯
・ひとり親 一六八世帯

地域間格差が顕著になってきていると思うし、最近の経済の動向がわが町にも、もろにきていると考えており、大変厳しい状況だ。町としての確に捉え、方向性を考えていきたい。



▲自然をいっぱい体力づくり



▲住む人のなくなった家



山本 弘敏 議員

結婚問題

世帯数及び人口減対策

町長／行政がどこまで

できるかにつける

【質問】

少子化問題が騒がれだして久しいが、いろんな対策もあり効果が出ているのが現実ではないか。それと平行して人口の減が進んでいる。あわせて空き家が多くなっていることも頭の痛い問題ではないか。

このまま何もしないでいると、奥から徐々に部落が無くなってしまふ恐れがある。
今こそ本気になって若者達の結婚問題を考え、また人口減対策を考えなくてはならない時期だ。

八頭町ならではの特別な優遇税制などの考えはないか。

【答弁】 平木町長

行政がどこまでできるかにつける。結婚問題に

しても個人の価値観もあり、ライフスタイルなど、真剣に結婚を考えているのかどうなのかの問題もある。

昔のように仲人がいて出会いの場を設けていただけの理想だとは思いますが、個人の考え方もあり、今現在の特効薬がないのが現実だ。
税制面では町としてはあまり大きなことはできないが、何かできることはないか検討する。

【質問】

地域防災計画はいつできるか。

【答弁】 平木町長

三月二三日の防災会議で策定する。

後期高齢者医療広域連合規約の見直し進言を

町長／進言はしない

高齢者医療



▲閉鎖されたトスク八東店

質問
昨年一二月議会定例会で可決した後期高齢者医療広域連合規約の見直しを、連合会長に進言すべきだ。

答弁 平木町長
①議員定数一三人の増員
②均等割り負担の解消
③各議会への報告義務を保障する規定の明記
④資格証明書発行等で被保険者の意思を連合の運営に反映できる規定の明記

付けられているが、質問内容は規則等になる。
④賦課徴収は市町村であり、減免制度も出てくる。資格証明書の発行は考えていない。

トスク八東店閉鎖後の対応策

質問
特に独居老人は日常生活に不便を来しているが、何らかの対応策を考えているか。

答弁 平木町長
今後、JAや商工会等の関係者に入ってもらい対応策を練りたい。



川西 聡 議員

答弁 平木町長
①町村議長会も増員の方向だが、立ち上げてからの今後の検討になる。
②二割負担の話もあったが、折衷案で一割となった。
③規約設定は九項目義務

情報基盤

情報通信基盤整備は慎重かつ早急に

町長／防災無線は遅くとも

平成二二年度



矢部 博祥 議員

質問
①情報通信基盤の整備は、多くの住民ニーズや行政執行上の問題解決の有効な手段。当面の最も急がれる大型事業と考える。町長の認識は。

②情報政策検討委員会の検討状況と提言時期は。
③財務的な検討は。
④役場組織・支所の再編など行財政改革にも寄与し、コスト削減につながると思うが。

⑤提供サービスやメリツトなどを日常的に町民に発信し、住民啓発と説明責任を果たす必要があると思うが。

答弁 平木町長
①まず、地域間の情報格差の解消だろうと思

う。パソコンを利用される方から高速網を早くという要望もある。

②携帯電話、防災行政無線、CATV、地上デジタル放送の問題も含めて議論している。ニーズ調査のアンケートも実施した。九月ごろまでに答申が出る。

③防災無線は、概算九億円。遅くとも平成二二年度。CATVは、二五億円を推定。
④大変大切なこと。いろんなサービスもでき、町民の利便性も向上する。

⑤答申が出たら座談会等の議題に出したい。

その他の質問
・指定金融機関との契約期間



ブロードバンドなら映像もOK

財政改革

収入役の廃止論を問う

町長／九月議会で

お礼の言葉を述べたい



谷本 正敏 議員

質問
昨年六月議会の一般質問で収入役不要について町長の考えを確認した。今後、職務等も精査し検討するが、経過措置もあり全体を見据えながら、平成一九年四月一日の時点で答弁したいとの発言であった。

鳥取市も四月一日から収入役の廃止が決定しており、県内一九自治体のうち一市(米子市)一町(八頭町)の自治体が収入役の職を残しているのが現状である。八頭町も指定金融機関の導入が決定し、財務的にも職務の効率性また利便性も一段と強化されると信じている。

地方自治の基本理念は、健全な財政運営が第一の柱であり全体の歳出



▼役場本庁舎の窓口の様子

削減の見直しは不可欠である。諸問題等を考慮すれば収入役の廃止論は是であると考えるが、町長の腹の内を伺いたい。

答弁 平木町長
機構改革に関連しての話であり、整理整頓させていただき人事案件も踏まえ、詳しく申し上げることができないが、九月議会で収入役に「お礼の言葉」を述べたい。

その他の質問
・少子化対策の思案
・教育施設の統廃合

平成21年以降、本町のごみはどうなるのか

町長／新しい候補地が決まらないといけない

ごみ問題



▲整理されたゴミステーション

質問
①平成二一年六月をもってクリーンセンターや可燃物処理施設は稼働停止する。それ以降の八頭町のごみはこの施設で処理するのか。

②クリーンセンターやずの操業延長は一〇〇％ないか。
③クリーンセンターやずの煙突から出る黒い煙の原因は何か。
④新たな可燃物処理施設の候補地、国英地区の進捗状況は。

ここにいくのかということも、きちつと考えている。

②現在の東部行政管理組合で可燃施設を設置するというのが崩れない限りはない。
③朝、重油をたいて立ち上げており、温度が上がると五、六分は黒煙が出るが、その後は八〇〇度で燃やしており、黒煙は出ていない。
④説明会をまだ二集落受けてもらえない。用地交渉は鳥取市が責任を持ってやられる。

答弁 平木町長
①現在は神谷の清掃工場しかないが、話をしに行くには新しい候補地が決まらないといけない。八頭町のごみはど

その他の質問
・河原インター線「河原二号トンネル工事」
・町長専用公用車
・日韓子ども国際交流



林 展正 議員

臨時会

◆教育委員会

委員の任命同意

一月一八日に同意した
もの。

新委員

○井上 悦生氏(坂田)
任期 平成二十二年五月
二日まで。
教育委員木下譲治氏の
辞任によるもの。

四月二六日に同意した
もの。

新委員

○平木 孝榮氏(西御門)
任期 平成二十三年五月
二日まで。
任期満了に伴う再任
新委員
○谷本 昭氏(国中)
任期 平成二〇年五月
二日まで。
教育委員横山和男氏の
辞任によるもの。

公文書を持って収入役
が出かけて説明している。

質疑

指定することの町のメ
リットは。

答弁

取納業務における利便
性、安全性の向上を図るこ
とができる。町の派出所と
指定金融機関とのオンライン
で取納なり支払事務が行
われ、迅速化が図れる。

質疑

指定金融機関が万が一
経営破綻した場合、町に
とつての影響は。

答弁

すべて貯金、借金が集
中するわけでなく入札と
いうことであり、ペイオ
フの制度もあり町の損失
はないと思う。

質疑

契約期間は三年とする
と明言されているが、なぜ
三年なのか。

答弁

世間一般常識にかなわな

いことが出てくるかもしれ
ないので、三年後に改めて、
それぞれの金融機関に照会
し、その時点で判断したい。

質疑

賠償責任の関係で、例
えば現金の過不足が起き
た場合、指定金融機関が
持つのか、町側が持つのか。

答弁

明らかにわかる問題は
それぞれが責任を持つべ
きだが、最終的には管理
者の責任だと思つ。

◆八頭町国民保護計画の承認

国民保護法等に基づき
万一大規模なテロや有事
が発生した場合、本町の
住民を守るために保護計
画を作成した。

質疑

住民の不安をあおらな
い情報の提供について、本
来避難誘導は自衛隊の仕
事ではないと思う。警察
力とか民間の非軍事的な
組織の仕事と思うが。

答弁

情報に対して的確に対応
し町民に伝達したい。有事
が起こった時には前に立つて
出るのが自衛隊だと思つ。

質疑

広範にして非常に難しい
膨大な計画を町民が知るべ
き部分のエキスをどうやっ
て町民に知らせるのか。

答弁

町民の不安をあおって
はいけないが、国民保護
計画が実在することを知
らせた。

反対討論 川西議員

国民保護計画になつて
いる法律は、外敵の侵略
の可能性があるとこの
であり、こういう有事法
制に国民を巻き込んで戦
時体制に組み込んでいく。
最終的に基本的人権の剥
奪であり、この計画を認
めるわけにはいかない。

◆一般会計補正予算

備品購入費一四八万円
船岡小学校、大江小学
校にアップライトピアノを
購入するもの。

編集後記

八頭町誕生二年。議
会だよりも満二歳を迎
えました。

議会の各委員任期
は、二年とされてお
り、四月二七日をもつ
て委員会構成が変わ
りました。当誌の企画
編集担当メンバーも、
今号を最後に新しい
担当に交代となりま
す。

当誌の編集企画は、
全く白紙の状態から、
七人のメンバーで検討
し、その都度、改善を
加えながら「正確で、
わかりやすく、親しみ
のある」紙面づくり
に努めてまいりました。

小中学校のあり方、
議会活性化、公共交通
等、今後の議会の課題
は数多くあります。
情報公開が強く要
求される今日、当誌の
役割はますます重要
となつてまいります。

町民の皆様のこれ
までのご理解とご協
力に感謝し、今後とも
ご愛読のほどお願い
申し上げます。
前議会広報特別委員会
委員長 矢部 博祥